

可茂会後援会報

第23号

2015.12.1

発行
社会福祉法人
可茂会後援会
可児市瀬田1648の9
発行者 前島宗直
TEL 0574-64-3366



芸術クラブ活動のようす

花と緑とからくり時計の

可茂学園

明るい将来に向けて

可茂会後援会会長 前島 宗直



会員の皆様には、後援会活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にあり

に今、何をしなければいけないかを真剣に考え、行動する事です。

一人の力ではどうにもなりません。自分の思いを正確に伝える事のできない本人に代わり保護者がその思いを伝えなければ前進はな

じのです。
私は、本人が安心して老後を迎える為の「知的障害者の老人ホームの設立」「法人による後見人センターの設立」が不可欠と考えます。

じあわせ

可茂会後援会会員
可茂学園前園長 池田 博子

おじて初めての障害者支援施設との皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げま

す。
私儀、今年六月末日をもちまして園長職を退職させていた

となく更に前進する事ができますよう、会員皆様方の温かいご支援を心よりお願い申し上げる次第でござります。

これまでの御厚情に深く感謝いたしましと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして退職のご挨拶とさせていただきます。

平成十三年六月就任以来、会員の皆様には大変お世話になりましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

可茂学園は平成三年四月に可茂地区に

みんなで力を合わせて、要望が現実となる様に頑張りましょう。

最後になりましたが会員皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

可茂学園園長 池田氏から日比野氏へ



今年の七月一日から池田施設長から日比野施設長にバトンが渡されました。池田施設長には十三年間の長きに渡り可茂学園の健全な運営と利用者のより良い環境作りなど多くの課題に取り組んで頂きました。あたりため感謝申し上げます。

さて、可茂学園が知的障害者の「學習の場、生活の場」として設立されて二十四年が経ちました。当時、若かつた保護者も利用者も年を重ねました。若い頃はさほど感じなかつた利用者の将来の生活は、どうなるのかと云つ事を。自分たちが亡くなつた時の為

皆様の願い

可茂学園新園長 日比野 邦彦



会員の皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。

日頃より可茂会後援会なれば、可茂学園への多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。可茂会後援会の主な目的は、調査・広報活動と施設整備の助成事業などが掲げられています。可茂学園も可茂会後援会設立以来、施設整備に多くのご助成を頂いております。重ねて会員の皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

さて、思い出話になりますが、平成十一年四月に副園長を命じられ、施設整備も担当することになりました。そんな私の初めての施設整備の仕事が、可茂学園福祉センターの新築整備でした。

もちろん施設整備のなかでも建築事業は、事業の規模にもよりますが相当な費用がかかります。可茂学園福祉センター新築整備の構想は、鉄骨造瓦葺二階建（延べ床面積六〇七・一㍍）で、所・テイサービス事業と地域交流スペース、在宅支援相談室等複合的な機能を有した施設で、結構な見積金額がありました。

その費用についてすべて法人の自己資金で整備できれば良いのですが、当時も施設整備に充当できる潤沢な自己資金があるわけでもなく、必然的に補助金を申請することになります。

そこで、可茂学園の本館棟・新館棟の新築整備でも多大なご助成をいたしました日本財団様に補助金申請をさせていただきました。

年四月一日付で交付決定通知を頂き、更には岐阜県、可児市はじめ施設を利用してみえる関係市町村、そして可茂会後援会からのご助成を頂き事業を完成することができました。そんな中で支援をしてくださる側の気持ちを、事業開始の建築事務説明会に出席をした折に、当時の日本財団の曾野綾子会長の挨拶で教わりました。

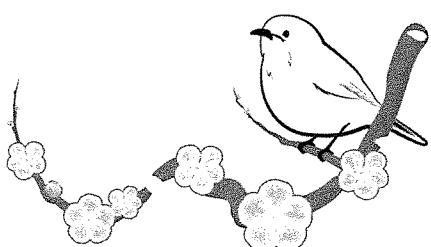
曾野会長は「日本財団がみなさんの事業に助成をするのは、日本財団に代わってみなさんに福祉の増進を託すからであります。ですから利用者様の幸せの為に、私たちに成り代わって真摯に取り組んで頂きたい。」とのつよくな内容でした。

初めて取り組んだ施設整備事業で補助金が頂けることになつた嬉しさは、いまでも忘れしませんが、可茂会後援会から施設整備のご支援を頂くときに、いつも曾野会長のごのお話を思い出します。

会員の皆様の願いも「私たちに代わって障害福祉の充実と推進、

利用者の幸せや自己実現のため誠心誠意取り組んで欲しい。」ということだと思つのです。そうした願いを丁寧に受け止め、それが私たちの仕事であるといつも心に誓つています。

私自身も可茂会後援会員です。微力ではありますが後援会員として後援活動の趣旨であります広報・啓発と会員拡大に努めています。



手をつなぐ育成会連合会

全国大会に参加して

加藤 政博

「第一回手をつなぐ育成連合会全国大会」と「第四十八回手をつなぐ育成会東海北陸大会」が名古屋市において併催され、九月二十六日、一・二十七日の一日間可茂学園から十四名参加しました。

(全国手をつなぐ育成会連合会は、昨年全国の育成会連合会として、新たなスタートが切られた。)

全国大会に相応しく、参加者約三千二百名、県知事、名古屋市長、各党国會議員など多数の出席があり、盛大な大会となりました。

近年の障害者福祉のめまぐるしい改革の中、二年前施行された「障害者総合支援法の施行三年後の見直し」、来年度から施行される「障害者の差別解消法」に向けた対応等の状況を踏まえ、「一日間に亘つて、分科会での講演・質疑、中央情勢報告、国会議員シンポジウムが行われるなど大変有意義な大会がありました。

私の参加した分科会は、「高齢期こそ多様な選択肢で安心を支

える」をテーマに開催され、高齢（六十五歳以上）の知的障害者の実態、研究成果等の報告・講演があり、介護や支援方法など早めの備え、対応が大切であることを痛感しました。

また、国会議員シンポジウム

では、「成年後見基本法」の次期国会への委員会提案、介護保険と障害福祉サービスの選択、障害施設内の高齢者サービス、などの討論を聞いて、より適切な障害者福祉の実現に向け、動向を注視していました。

私たち保護者も、必要な情報の共有と、学園長を始め職員の皆さんとの連携を密にして「ひとりひとりのかけがえのない人生を大切にする共生社会の構築」に努める事が重要だと感じました。

健康フェア可児に参加して

伊賀 左織

十月十八日可児市文化創造センターにて、今年も健康フェアが開催されました。

私は役員になつての初参加でしたが、沢山のお店と人に少しひくりしました。

毎年、可茂学園のバザーとパンを楽しみにしているお客様も多く品物を並べている後ろで待っている方も沢山みえました。お店の場所が一番奥に移動したので、探し



かりません。品名もその場で簡単でいいので品名を付けた方が良いです。

お客様の要望としてはクリーミパンが欲しかったみたいです。マフィンは小さいせいか、他のパンに比べて売れ行きが悪かったです。メロン、あんぱん、カレーパンは三十分もしないうちに完売。

皆、風じはんやおやつ代わりに食べて見えました。

小さな子供やお年寄りのお客様が多いので食べやすいパンが人気。バザー用品も早い時間にたくさん売りました。

来年もできたら参加したいと思いました。

親睦旅行

福井コースに参加して

酒向 三保子



十一月七日曇り空の中、福井コース旅行が始まりました。少し早い木々の紅葉を見ながら、山、山、山を通り抜け福井に到着しました。ホテルせくみ屋さんでの昼食は、力づくし食べやすく気配りされていてよかったです。レインボーライン山頂公園へはケーブルカーとりフとの選択、リフトを選ばれた人はスリルがあつてよかつたかな?私たち親子はしばらく考え断念しました。で

良かつた。この度の旅行で私は初めてお話しした方がありとても癒されたひと時がありました。親睦旅行こそ心のつながりのある場であると改めて感じました。思い出に残る楽しい旅ができました。同行頂いた学園支援員の方々に心から感謝いたします。

飛騨高山コースに参加して

今井 友香

十月二十四日に、親睦旅行飛騨高山コースに引率として参加しました。天候にも恵まれ、絶好の行楽日和の中、高山に向けて出発しました。

郡上八幡で高速を降り、せせらぎ街道を通つて高山まで向かいましたが、ちょうど紅葉の時期ということで、バスの中からきれいに色づいた景色を眺めることができました。

高山へ到着し、祭りの森の見学、その後ホテルにて昼食を食べお土産を見て、ゆつたり過ごすことができました。

昨年も飛騨高山コースがあつ



岐阜県共同募金会様のご助成で、
相談支援センター専用車両を配備しました!



当法人では、相談支援事業を平成二十五年十月から実施しておりますが、専用車両の配備がな

く本体施設の車両との共同使用をするなどの対応をしておりました。この度、岐阜県共同募金会様よりご助成を頂き、可茂学園相談支援センター専用車両を配備することができました。専用車両を配備することができたことにより、相談支援業務や関係機関との連絡調整など必要な時に迅速な対応することができるようになりました。

「赤い羽根共同募金」のご助成に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



赤い羽根号

たということで、今回は人数が少なかつたですが、昨年とは違う観光地や昼食メニューでよかつたのではないかと思います。

年に一回保護者の方と一緒に旅行に行く機会を楽しみにして見える利用者もたくさんいます。来年もぜひ親睦旅行に参加していただき、樂しご出を作つて頂けたらと思います。

社会福祉法人可茂会 後援会総会報告

(一) 平成二十六年度後援会決算報告
と承認

(二) 平成二十六年度後援会特別会計
報告と承認

平成二十七年四月十一日(土)

(於可茂学園福祉センター)

一、開会の言葉

二、会長挨拶

三、園長挨拶

四、議長選出

五、議事

I

II

III

IV

V

(四) 平成二十六年度後援会事業報告
(案)の承認

(二) 平成二十七年度後援会監査報告
(案)の承認

(一) 平成二十七年度後援会予算(案)
の承認

(三) 平成二十七年度後援会役員選出
と承認

七、閉会の言葉

平成二十六年度 事業報告

平成二十六年六月十二日(木)

後援会会員の業者訪問

平成二十六年六月十四日(土)

可茂会後援会役員会

平成二十六年九月十三日(土)

可茂会後援会役員会

平成二十六年十月十九日(日)

可児市健康フェアへ参加

平成二十六年十一月八日(土)

バザー(売上金 七六、〇一〇円)

平成二十六年十一月(月)

可茂会後援会役員会報の発行

二十一号三〇〇部

平成二十六年十二月十三日(土)

可茂会後援会役員会

平成二十七年二月十四日(土)

可茂会後援会役員会

平成二十七年三月十四日(土)

可茂会後援会役員会

平成二十六年三月(月)

可茂会後援会監事監査

平成二十六年会員加入状況に
ついて

平成二十六年度決算報告について

平成二十七年度事業計画(案)に
ついて

平成二十六年度予算(案)について

平成二十七年度予算(案)について

平成二十七年度後援会役員(案)
について

平成二十七年度の総会の打ち合
わせ

平成26年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘要
1. 会 費	1,570,000	1,549,000	-21,000	
特 別 会 員	90,000	60,000	-30,000	30,000円×2口
正 会 員	1,200,000	1,230,000	30,000	10,000円×123口
育 成 会 員	180,000	180,000	0	3,000円×60口
贊 助 会 員	100,000	79,000	-21,000	1,000円×79口
2. 雑 収 入	35,000	76,020	41,020	バザーの売上等
3. 利 息	0	0	0	
4. 前 期 繰 越 金	21,012	21,012	0	
合 計	1,626,012	1,646,032	20,020	

支出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘要
1. 会 議 費	20,000	10,475	-9,525	弁当代等
2. 事 務 費	580,000	557,868	-22,132	
通 信 費	10,000	4,232	-5,768	切手代
印 刷 製 本 費	100,000	89,100	-10,900	会報印刷代
事 務 消 耗 品 費	10,000	4,536	-5,464	コピー用紙代
施 設 整 備 費	380,000	430,000	50,000	朝日(業者委託)三ツ治ホーム館
雜 費	80,000	30,000	-50,000	夏祭り強賛金(中止のため粗品分)
3. 振 込 手 数 料	3,000	760	-2,240	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,023,012	1,000,000	-23,012	施設整備積立金
合 計	1,626,012	1,569,103	-56,909	

収入総額 1,646,032円
支出総額 1,569,103円
収支差額 76,929円 (次期繰越)

監査報告書

平成26年度の可茂会後援会決算について監査の結果、その收支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。

よって平成26年度決算は適正であることを認め、報告いたします。

平成27年3月14日

可茂会後援会
会長 前島宗直様

監査委員 小椋捷夫
奈畠直喜

特別会計報告書 施設設備積立金

(単位: 円)

	収 入	支 出	残 高
平成22年度積立金(郵便局定額預金)	1,188,000		9,756,000
平成23年度積立金(郵便局定額預金)	244,000		10,000,000
マイクロバス寄附(24.10.10)		6,900,000	3,100,000
マイクロバスのスタッドレスタイヤ寄附(24.11.30)		288,000	2,812,000
平成24年度積立金(郵便局定額預金)	2,490,000		5,302,000
平成25年度積立金(郵便局定額預金)	1,400,000		6,702,000
平成26年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		7,702,000

平成二十七年度
事業計画

【基本方針】

平成27年度 社会福祉法人可茂会後援会予算

収入の部

科 目	26年度予算	27年度予算	比較増減	摘要
1. 会 費	1,570,000	1,570,000	0	
特 別 会 員	90,000	90,000	0	30,000円×3□
正 会 員	1,200,000	1,200,000	0	10,000円×120□
育 成 会 員	180,000	180,000	0	3,000円×60□
贊 助 会 員	100,000	100,000	0	1,000円×100□
2. 雜 収 入	35,000	35,000	0	バザーの売上
3. 前 期 繰 越 金	21,012	76,929	55,917	
合 計	1,626,012	1,681,929	55,917	

支出の部

科 目	26年度予算	27年度予算	比較増減	摘要
1. 会議費	20,000	20,000	0	
2. 事務費	580,000	600,000	20,000	
通信費	10,000	10,000	0	切手代
印刷製本費	100,000	100,000	0	会報印刷費
事務消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙代等
施設整備費	380,000	430,000	50,000	運動場整備(芝生ホーム含む)
雑費	80,000	50,000	-30,000	春祭り協賛金
3. 振込手数料	3,000	3,000	0	郵便振替手数料
4. 積立金	1,023,012	1,058,929	35,917	施設整備積立金
合 計	1,626,012	1,681,929	55,917	

解とに支援に支えられ、順調に施設整備の拡充を図つてまいりました。近年は社会福祉法人に対する補助についても見直しがなされ、従来にも増して公的助成が厳しくなることが予想されます。今後は利用者の重度化、高齢化に伴う施設整備が必要となります。そのための整備の資金作りの援助を目的とします。

【重点目標】

組織強化活動

(平成11年版印刷)

特別会員・

正會圖
六〇

贊助會員：一〇〇〇

◎ 情報の収集と操作
の推進

③会員相互の連携と協同活動の促進

二 各種会議の開催

① 総会の開催 年一回
四月十一日(土)午前十時(

③監事会の開催
年一回

三月十一日(土)午後一時

①後援会会報の発行 年一回

可茂会後援会にご加入を

年間会費
特別会員
正会員
育成会員
贊助会員
会員
三千円
一万円
三千円
四千円

皆もんで、向茂学園施設整備資金確保に向かつて、新会員の加入をお勧めください。

可茂會後援會事務局
T E L 六四一三三六六

可児市文化創造センターで、
10月18日(日)に開催されました『健康フェア可児』で
バザーを行いました。
売上金は48,980円でした。
皆さんのご協力ありがとうございました。

平成二十七年度
可茂会後援会役員

②会員拡大に必要な広報活動
③可児市健康フエアへの参加
（バザー）十月十八日（日）

四 施設整備の助成事業

①可茂学園園舎、麦の丘、三ツ池木
一△周辺の環境整備（業務委託）

①施設整備積立金へ積み立てる
①法人運営費の助成事業

